

門番



年 組 ()

トムは、城の門番を^{つと}務めている。トムの守る門には、1つのきまりがある。

それは、「戦いに出るとき以外には、決して門を開けてはならない」という^{きび}厳しいきまりである。

このきまりは、むかし、戦いの最中に門を開けてしまっ^てて敵にせめこまれてしまったことから、この国の前の王様が決めたのだ。きまりを^{やぶ}破れば、門番は重いけいばつを受けることになっている。^{ろうや}牢屋にたたきこまれるのだ。トムは、城を守るためにも、「何があっても門を開けるまい。」と心に決めていた。

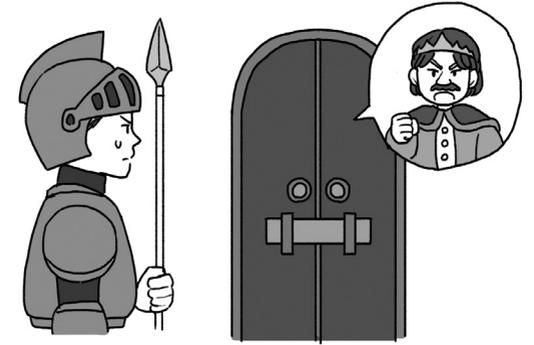
ある夜、トムが門番として立っていると、門の外から声が聞こえてきた。

「門を開けろ！」

どうやら、王様の声のようだ。トムは、おどろいて返事をした。

「王様ですか。いったい、どうなさいましたか。」

「^{わたし}私は、^{うらぐち}裏口からこっそりかき出かけていたのだが、ひどいけがを負ってしまった。今すぐ^{ちりょう}治療しなければ、ただではすまないだろう。早く、この門を開け！ 命令だぞ！」



王の命令は、^{ぜったい}絶対である。しかし、この門

を開けるのは「戦いに出るとき」だけなのだ。今は、そのときではない。だけど、このままでは——。

トムは、門を開くべきかどうかを考えた。

トムは、門を開くべきでしょうか。開かないべきでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

<p>.....</p> <p>.....</p>

話し合って考えたことを書きましょう。

<p>.....</p> <p>.....</p>
